

## 私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、  
 お空はちっとも飛べないが、  
 飛べる小鳥は私のように、  
 地面を速くは走れない。

私からだをゆすつても、  
 きれいな音は出ないけど、  
 あの鳴る鈴は私のように  
 たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、  
 みんなちがって、みんないい。

『金子みすゞ童謡全集』  
 JULA出版局より

## 《金子みすゞ感想文最優秀賞 ----- 新居浜市立南中学校 2年 神田樹一》 私と小鳥と鈴とを読んで

拝啓、金子みすゞ様

みんなみたいに、あの子みたいに、みんなと同じが良いことだと僕は思っていました。勉強が苦手な僕は、あの子みたいにもっと勉強ができるようにならなければいけない、サッカーの試合に出られなかった時の僕は、あの子達のように、選手に選ばれなければならないと、中々結果の出ない毎日に悩んだりもしました。

でも、あなたの詩を読んで、「みんなちがってみんないい」という言葉に、心の中がクリアになった気がします。だからといって、勉強やサッカーから逃げ出す訳ではなく、「みんなちがってみんないい」と思うようになったことで、少し肩の力も抜いて前向きに少しずつ自分のペースで頑張ってみようと思えました。

きっとそれは、勉強やサッカーができることが僕にとっての幸せではなく、幸せはいつも自分の心が決める、というように僕の幸せはそこではないということです。

僕が今幸せに感じることは、僕を支え守ってくれる家族がいる、何でも話せる友達がいる、その人たちといると自分が笑顔でいられる、それが僕の幸せです。勉強はできないけど、サッカーは上手くないけど、僕の周りにはたくさん大切な人たちがいます。その人たちを笑顔にしたい、そのためには、勉強もサッカーも頑張らないと、と思えるようになりました。

みんなのようにならないと、ではなく自分の幸せのためと思えるようになった今、みんなちがってあたり前なんだということに気付きました。

なんとなく手にしたあなたの詩集は、昨日までの僕の考えを百八十度変えてくれました。それは僕にとってとても大きな出来事です。

あなたに、感謝の気持ちを伝えたくて手紙を書きました。ありがとうございました。追伸、僕は変わります。見ていてください。

### 定例会日時のお知らせ

☆日時：毎月第3木曜日 AM10時～12時30分まで  
 ☆場所：新居浜市まちづくり協働オフィス

### エッセイ募集

☆私の好きなみすゞの詩  
 ☆どしどしご投稿下さい。

